

Silent information regulator T1 in aqueous humor of patients with cataract

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-11-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 近藤, 亜紀 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00023882

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 2915 号	氏 名	近藤 亜紀
審 査 委 員 会	主 査 教 授	飯田 知弘	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>サーチュインは遺伝的な調節を行う事で寿命を延ばすと考えられている酵素で、ヒトでは SIRT1 が細胞老化に関わる重要な分子である。本研究では白内障の前房水中 SIRT1 濃度と、全身疾患、白内障の程度などとの関連性を調べた。白内障手術を受けた 29 眼を対象とし、前房水中の SIRT1 濃度を ELIZA 法により測定した。術前視力が低いほど、また核硬度が高いほど前房水中 SIRT1 濃度は高いという結果が得られた。SIRT1 が白内障の病態と関係しており、特に防ぐ作用がある可能性があると考えられた。今後 SIRT1 が白内障などを防ぐ治療薬となる可能性が示唆された。</p> <p>審査では、SIRT1 が細胞内から前房水中へ出る機序、SIRT1 濃度の測定方法などの質疑応答がなされたが、申請者から適切な回答が得られた。本研究により示された SIRT1 が白内障の治療薬となる可能性は、今後の白内障治療に重要な示唆を与えられ、学位授与に値する研究として高く評価された。</p> <p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に学務部医学部大学院課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			